

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【公開番号】特開2006-58289(P2006-58289A)

【公開日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2005-211848(P2005-211848)

【国際特許分類】

G 01 N 27/327 (2006.01)

G 01 N 27/30 (2006.01)

G 01 N 27/416 (2006.01)

C 12 M 1/34 (2006.01)

H 01 M 8/16 (2006.01)

B 01 J 19/08 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/30 3 5 3 R

G 01 N 27/30 3 1 1 A

G 01 N 27/30 A

G 01 N 27/46 3 3 6 A

G 01 N 27/46 3 3 6 G

C 12 M 1/34 E

H 01 M 8/16

B 01 J 19/08 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月22日(2008.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

前記第1のメディエータの酸化還元電位が、前記第2のメディエータより正の電位側であり、カソードとして用いられる請求項1に記載の酵素電極。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明に係る酵素電極は、導電性部材と、酵素と、第1及び第2のメディエータと、を有する酵素電極であって、第1のメディエータと第2のメディエータとが担体によって、導電性部材に固定化されており、且つ第1のメディエータと第2のメディエータとは、互いに酸化還元電位が異なることを特徴とする。